

一般質問 第7回定例会・本会議 (9/21.22.26)

本会議録画中継をホームページからご覧になることができます!

市議会HP

議会中継>本会議録画配信 >令和4年第7回定例会

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

宮崎誠克

(自民党・市民クラブ・佐伯区)

中央図書館等の再整備

広域的な幹線道路整備

湯来地域の新たな教育環境

水田活用の直接支払交付金の見直し

石橋竜史

(自民党・保守クラブ・安佐南区)

自殺(自死)対策

石田祥子

(公明党・佐伯区)

NPT再検討会議

男女共同参画社会実現に向けた女性のデジタル人材の育成

ペット霊園・火葬施設等の設置基準

本市の食品ロス削減のイベント

小・中学校の特別支援教育の充実

実

山下正寛

(市民連合・安佐北区)

学校におけるキャリア教育の推進

芸備線による公共交通ネットワークの存続

有害鳥獣対策につながる農地利用

民生委員・児童委員へのサポート体制の強化

NPO法人への支援

中央図書館等の再整備



宮崎誠克 自民党・市民クラブ

問「広島市立図書館再整備方針(素案)」では、こども図書館は中央図書館と切り離して、その機能・サービス等の充実を図るとしているが、今後どのように中央図書館等を再整備していくつもりか。

答 他都市の先進的な図書館の機能も取り入れながら、機能の充実を図ることとしている。新たな中央図書館については、今後、整備候補地の比較検討を行うが、こども図書館については、中央図書館と一体のものとして扱うという本市の判断とは異なる市民意見が多いことから、中央図書館とは切り離し、こども文化科学館のリニューアルに合わせて、整備の充実を図っていく。

湯来地域の新たな教育環境

問 統合により新たに設置される学校が地域の活性化に資するものとなるためには、他の地域からも通いたい、通わせたいと思われる学校とすることが必要。そのためには、質の高い、魅力的な教育が求められるが、どのような教育を想定しているか。

答 小中一貫教育による学びの連続性・系統性を重視した教育課程の下、小・中学校の教員が連携して指導の工夫等に取り組みたいと考えている。また、豊富な地域資源を生かした湯来ならではの取り組みを、地域の方々と連携して検討していきたい。

誰一人、取り残さぬ広島市へ



石橋竜史 自民党・保守クラブ

問 自殺・自死は個人や家庭の問題ではなく「社会」の問題であり、改めて、かけがえのない一人一人の命を「支え合える」ような広島市を築いていくべきだと思いが、自殺・自死対策にかける本市の思いは。

答 本市としては、行政が適切な支援ニーズを能動的に把握し、支援を必要とする方々に寄り添ったきめ細かい支援を継続して行うことが重要と考えている。今後も、令和4年3月に策定した「第3次広島市うつ病・自殺(自死)対策推進計画」に掲げた取り組みを着実に進めていくことにより、市民一人一人が、かけがえのない個人として尊重され、地域において支え合える社会の実現を目指す。

学習端末の有効活用を

問 他都市のように、いじめ、学問、家庭、身体についてなど、児童生徒が抱える多様な悩みや各種サインを、タブレット端末を通じて教員等が把握し、相談に乗る仕組みを整備していただきたいかがか。

答 GIGAスクール構想で整備された1人1台のタブレット端末は、学校生活アンケート等の実施やスクールカウンセラーとのオンライン面談を可能にし、現在、児童生徒の心身の状況を把握する相談ツールの一つとして活用されている。他都市の先行事例等を収集し、研究していきたい。

ペット霊園・火葬施設の設置基準を



石田祥子 公明党

問 ペット霊園・火葬施設の設置に関する条例を作る必要性があると思うがどうか。また、条例制定までの間、何らかの指導ができる方法を取るべきではないか。

答 ペット霊園等の施設については、立地を規制する明確な法的根拠がないことが地域住民とのトラブルの原因ともなっているため、現行の法体系の下で、そうした施設の設置と周辺の生活環境の保全を両立させるためのルールづくりが必要である。条例制定の必要性を視野に入れて検討していきたいが、まずは、施設が周辺の生活環境に支障を及ぼすことのないよう指導するための基準を定めたいと考えている。

通級指導教室の充実を

問 インクルーシブ教育を推進する上で、通常学級の児童生徒が通級による指導を受けられることは有効と考えるが、今後、本市において、通級による指導は、どのように充実させていくつもりか。

答 今後は、既存の通級指導教室において児童生徒の教育的ニーズを踏まえた指導の充実を図るとともに、通級による指導が有効と考えられる児童生徒の数の増加、在籍している学校の分布状況、本人・保護者の意向等を踏まえながら、教室の増設等について検討したいと考えている。

学校にキャリア教育を



山下正寛 市民連合

問 学校で、チャレンジ精神、創造性、探求心といった「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力といった「起業家的資質・能力」を育成する起業家教育に取り組んでほしいか。

答 起業家教育は、新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きるために必要な力を育成するものとされている。地域と連携し、それぞれの実情に応じた多様なキャリア教育が促進されるよう、国が作成した「小・中学校等における起業体験推進事業実践事例集」等も紹介しながら、学校に働き掛けていきたい。

芸備線利用促進で存続を

問 パーク・アンド・ライドは、自宅から駅までの交通手段が確保できないというメリットがあるほか、芸備線沿線では、芸備線の利用増加にも貢献する。パーク・アンド・ライドの推進について、本市の考えは。

答 パーク・アンド・ライドは、芸備線の日常利用を増やす有力な手段であり、並走する主要地方道広島三次線の渋滞緩和にもつながる。令和4年度、芸備線対策協議会は、利用促進策の一つとして、新規パーク・アンド・ライド体験者への協力を支給するとともにアンケート調査を実施する。

どうなる？中学校部活



定野和広 ひろしま清風会

問 土日の中学校部活動が、学校から地域に移行されると、指導者への謝金や会場費などこれまでなかった負担が発生する。家庭の経済事情に左右されず部活動に参加できるよう何らかの対策が必要だと思うがどうか。

答 スポーツ庁の新年度予算概算要求の中では、経済的に困難する世帯の子どもがクラブ活動に参加できなくなるなど、新たな必要となる会費等への支援を行うことが示されているが、まだ金額などの詳細は示されていない。本市の実情を踏まえて、国の制度の詳細把握に努めながら、経済的支援の在り方も含め、しっかり検討していきたい。

被爆者健康手帳の迅速な交付を



中森辰一 日本共産党

問 黒い雨被害者は、高齢化が進み、急速な作業が求められている。被爆者健康手帳の交付が迅速に行えるよう、担当職員の体制を強化すべきではないか。

答 従来、手帳審査には6カ月程度の期間を要していたが、令和3年10月以降、審査体制を逐次増員し、令和4年4月までに4名を増員した。その後、さらに7名の応援体制を整え事務処理に当たっているところであるが、さらなる体制強化のため、どういったことができるか検討していきたい。



被爆者健康手帳

市民の求める図書館像

問 市民に広く親しまれ、活用される図書館を整備するに当たり、広く市民の意見を聴くため、市が自らワークショップ等を開催すべきだが、それをせず市民主催の会合へ参加することで良しとする理由は何か。

答 「広島市立図書館再整備方針(素案)」は、市民から寄せられたさまざまな意見を反映して作成したものである。さらに、同案作成後にも市民意見を募集し、その意見を可能な限り反映していくこととしている。こういったことから、本市が独自にワークショップを開催することは考えていない。

図書館等再整備に議論の場を

問 素晴らしい図書館とするためには、市民や専門家を交えた深い検討が必要。改めて、市民に議論を呼びかけ、そのための場を提供し、一緒に議論を交わして進めるべきだと考えるがどうか。

答 中央図書館等の再整備に当たっては、すでに市民や関係団体から意見を聴取することにも、本市審議会の専門委員等とも意見交換を行っている。本市としては、付帯決議に沿って作業を進め、すでに成立している関係予算を年度内に執行できるようにする必要があると考えている。